

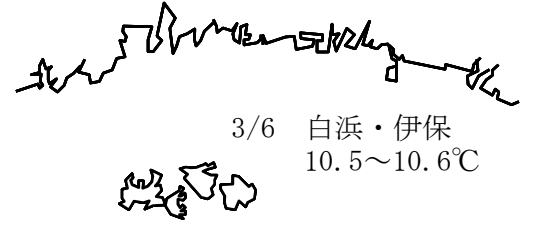
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 15号)

2020年 3月 9日発行
 兵庫のみ研究所

前回 (2/27) 調査で増加傾向にあったコシノディスカスは、海域全般に散見される程度と減少しています。先週中頃や昨日に降雨があったことから、地先において窒素の上昇が認められた漁場もありました。

(栄養塩、珪藻) 地先漁場では、小型のキートセロスが前回調査同様やや多く確認されるが、コシノディスカスは海水1Lあたり50細胞までと減少している。比較的まとまった降雨 (気象庁アメダスより3/4~8の雨量 計: 約40mm) があり、一部地先漁場で窒素の上昇が見られた。コシノディスカスの多かった沖合の坊勢地区でも、発生量は海水1Lあたり80細胞前後と減少しているが、沖合漁場の窒素は大きく低下した状況であった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.3	3.0	1.9	3.7
	リン	0.25	0.28	0.22	0.33
家島・坊勢	窒素	0.8	0.4	1.5	1.3
	リン	0.31	0.31	0.25	0.22

(2/27) (3/7)

栄養塩 (窒素) 図

2020年 3月 9日調査

